

# 十方山～ふかふか新雪を堪能！！ラッセル！ラッセル！～

【報告者】I本

【日時】2019年1月27日

【天候】晴天

【参加者】マサ、I藤、H田、HS、I本

## 《コースタイム》

9:30 駐車場～11:30 登山口とりつき～12:50 標高 1150m 付近～13:55 分登山口～15:10 駐車場

## 《 報 告 》

1月27日日曜日、晴天。前日土曜日に待望の寒波が日本列島にやって来ておりました。前夜福岡を出発し、雪積もる鹿野PAにて一泊。当日朝、戸河内ICを下りると、恐羅漢や芸北スキー場に向かうたくさんの方がいました。十方山駐車場に到着すると、林道には膝丈くらいの雪。各自わかん・スノーシューを装着し、林道から登山口のとりつきを目指しました。



【駐車場から林道へ】



【装着】



【十方山登山口】

膝丈くらいまで新雪がふかふかとつもり、道をつくるのに一步すすむのも汗をかき、交代でラッセル。登山口到着のころには、時間が結構かかってしまっていたため、山頂踏破が危ぶまれましたが、とりあえず稜線を目指すことに。登山ルートを目印を時折見失い、違う稜線に出そうになりましたが、方向修正しながら十方山の方角を目指しました。十方山山頂につながる稜線に出、時間的に厳しくなってしまったため、写真撮影ののち、下山。とりつきにはあつというまに下りてしまいました。駐車場までは夏道で55分とのことでしたが、往路は二倍近くの時間がかかりました。復路は往路のラッセル道のおかげでだいぶ楽な道のりでした。



【稜線】



【帰り道】

驚いたのは、気温があつというまに上昇し、我々が歩いた道の上に雪崩れが起きており、大変歩きにくくなっていたことでした。帰りは味わい深い三段峡温泉にてあたたまり、帰福。今回は残念ながら山頂からの景観は望めませんでしたが、ふわふわの雪に埋もれ、冬を堪能できた山行でした。